

創立150周年二川小だより

R4.6.10 第6号

命

命はとても大切だ
人間が生きるための電池みたいなもの
でも 電池はいつか切れる
命もいつかはなくなる
電池はすぐに取り替えられるけども
命はそう簡単には変えられない
何年も 何年も 年月が経って
やっと神様から与えられるものだ
命がないと 人間は生きられない
でも 命なんかいらないうって
命を無駄にする人もいる
まだ たくさん命が使えるのに
そんな人を見ると 悲しくなる
命は 休むことなく働いているのに
だから 私は 命が疲れたというまで
精一杯 生きよう



全校朝会 「命の話から」

「42,048,000回」これは何の数字でしょう。

これは、1年間に皆さんの心臓がどくん、どくんと動く回数です。心臓は、1分間に平均して80回ぐらい動くそうです。だから、1年間にすると心臓は約42,048,000回動いているそうです。12歳の子は生まれた時から、心臓は休みなしに約550,000,000回動いているそうです。すごい、回数ですね。

こう考えると、自然に私は自分の心臓に、「ありがとう」という気持ちになります。この世の中で自分という人間は一人しかいません。皆さんも自分の命を大切にすることを考えてほしいと思います。

そのようなことを考えながら、あるとき市の図書館で「電池が切れるまで」という本です。豊科というところにある「子ども病院」に入院していた子どもたちの詩を集めた本です。その中で当時小学4年生だった子の詩を紹介します。【上記の詩です】

自分の命をぜひ大切にしていってほしいと思います。それと同時に、自分の周りにいる友達やまわりの人の命も大切にしていきましょう。まわりの人の命を大切にすることというのは、ばかにしたりからかったり、軽く見たりすることをしないということです。それは、絶対に許されないことです。

自分の命、まわりの人の命を大切に、一日一日を皆さんが楽しく過ごしていってほしいと願っています。

5,6年生のみなさん、プール掃除ありがとう!!



「いのちの授業」

6月18日(土)は「豊橋学校いのちの日」です。この日に合わせて6月17日(金)の授業参観では、全学級道徳の授業を実施します。テーマは「命の大切さを考える」です。子どもたちの様子をご覧いただき、「いのちの大切さ」を親子で考える一助としていただければと思います。

「マスターテスト」について

現在、どの学年も「マスターテスト」に向けて取り組んでいます。1・2学期は「国語・算数」の内容を、3学期は学年に応じた内容を考えて実施していきます。